

会員だより



バラ園のボランティア活動



今年の桜は例年になく、早く開花しました。広島縮景園の桜(標本木)が日本一早く咲いたようで、開花宣言が全国ニュースになり驚きました！！コロナ禍の中お花見もただ歩いて見るだけでした。

(一部の若い強者達はお弁当宴会したり、スイーツ持参でお茶などしてた人々がいましたが・・・)
花といえば2年前よりバラの花壇のボランティアをしています。広島平和記念公園内にあるバラ園です。場所は“原爆の子の像”の直ぐ横と、“原爆ドーム”側の川沿いの2カ所です。

冬場は殆ど活動がありませんが、去年は『全国都市緑化ひろしまフェア』があったので、2月頃から挿し木などの作業をしたり、出展するバラ移植をしました。期間中は14品種のバラを展示しました。いずれのバラも、原爆投下された広島の復興を祈念し、平和のシンボルとして諸外国から寄贈されたバラです。一番古くは昭和27年5月にアメリカ人のオペラ歌手から寄贈されたもので、その本人の名前より付けられたヘレン・トローベル。昭和43年に西ドイツから寄贈されたドフトボルケ。その後もオランダからアルバート・シュバイツァー。英国から英国国花であるバラを10品種、バーミンガムポスト、クィーンエリザベス、ピカデリー、ピースなど、チェコスロバキアからも6種、ベルギーからアンネ・フランクも寄贈されました。最近では平成23年にブルガリアからダマスクローズが寄贈されました。広島平和記念公園内には34品種が植栽されています。

私自身もこのボランティアに携わらなかつたら、バラ園も何も知らずに過ごしていたと思います。これからの季節はバラが次々と咲き誇ります。4月下旬から毎週1回、花の摘み取りや、下草の作業が始まります。コロナ感染予防をしながらのバラ園の掃除です。身近に少しだけ平和を感じながら、バラの香りを楽しんでのボランティアです。広島におこしの際は、お好み村だけじゃなく、広島平和記念公園にもお運び下さい。ゆっくり歩いて綺麗な色とりどりの、バラ園を見て癒されて下さい。

記；船倉 淑子



(昨年5月のバラ園です)

